

豊川水系における
水資源開発基本計画

説明資料

平成18年2月

国土交通省

説 明 資 料

- 都市用水（水道用水及び工業用水）の県別・用途別需給想定一覧表
- 農業用水の県別需給想定一覧表

「豊川水系における水資源開発基本計画」 説明資料 (1)
 (都市用水 (水道用水及び工業用水) の県別・用途別需給想定一覧表)

【需要】

(単位:m³/s)

H27	用途	水道用水		工業用水			都市用水
	県名	愛知	小計	愛知	静岡	小計	合計
豊川水系への依存量		4.51	4.51	1.38	0.25	1.63	6.14
他水系への依存量		0.02	0.02	—	—	—	0.02
総量		4.53	4.53	1.38	0.25	1.63	6.16

【供給】

(単位:m³/s)

H27	用途		水道用水		工業用水			都市用水 合計		
	事業名	県名	愛知	小計	愛知	静岡	小計	計画供給量	安定供給可能量 (近2/20)	近年最大渇水時 供給可能量
開発 予定 水量	新規	設楽ダム	0.18	0.18	—	—	—	6.79	5.37	5.03
	既計画で手当済み	豊川総合用水	1.52	1.52	—	—	—			
	その他事業	豊川用水	2.66	2.66	2.03	0.40	2.43			
	小計		4.36	4.36	2.03	0.40	2.43	6.79	5.37	5.03
自流			0.50	0.50	0.04	—	0.04	0.54	0.54	0.54
地下水			0.56	0.56	—	—	—	0.56	0.56	0.56
その他			—	—	—	—	—	—	—	—
合計 (豊川水系への依存量)			5.42	5.42	2.07	0.40	2.47	7.89	6.47	6.13
他水系への依存量			0.02	0.02	—	—	—	0.02	0.02	0.02
総量			5.44	5.44	2.07	0.40	2.47	7.91	6.49	6.15

[需給想定調査等を基に作成]

(注)

- 1: 水道用水及び工業用水の水量は、それぞれ一日最大取水量である。
- 2: 水道用水の水量は簡易水道分を含んでいる。
- 3: 「安定供給可能量(近2/20)」とは、近年の20年間で2番目の規模の渇水時において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量のことである。豊川水系において近年2/20に相当する渇水は、平成7年度である。
- 4: 「近年最大渇水時供給可能量」とは、近年の20年で最大の渇水であった平成8年度において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量のことである。
- 5: 「安定供給可能量(近2/20)」及び「近年最大渇水時供給可能量」とは、一定の前提条件の下でのシミュレーションをもとにした供給可能量である。
- 6: 個別施設は統合的に運用されているため、「計画供給量」、「安定供給可能量(近2/20)」及び「近年最大渇水時供給可能量」の供給可能量は個別施設毎に算出できない。
- 7: 「その他」とは、ダム等の水資源開発施設、自流及び地下水以外により供給される水(湧水等)である。
- 8: 既に工業用水として手当てされている水源は、安定供給可能量が低下してきている近年の状況を踏まえた渇水対応や将来における地域の発展のために活用されることとなっている。
- 9: 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

「豊川水系における水資源開発基本計画」 説明資料 (2)

〈農業用水の県別需給想定一覧表〉

【需要】

(単位:m³/s)

H27	用途	農業用水		
	県名	愛知	静岡	小計
新規需要想定		0.34	-	0.34

【供給】

(単位:m³/s)

H27	用途	農業用水		
	事業名 \ 県名	愛知	静岡	小計
新規	設楽ダム	0.34	-	0.34
開発水量 (既計画で手当済み)	豊川総合用水	1.50	-	1.50
その他	豊川用水	4.75		4.75
合計		1.84	-	6.59
		4.75		

注1 : 上記表中の農業用水の水量は、年間平均取水量である。

注2 : 供給の「その他(豊川用水)」の欄における水量4.75m³/sは愛知県と静岡県にまたがっている水量であり、両県で明確に分離できないため、上記の表のように記述している。